

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<38週> 伝染性紅斑 - 過去5年間の同時期と比較してかなり定点当たり報告数が多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<腸管出血性大腸菌感染症> 第38週の報告数は98で、第38週時点での今年の累積報告数は3,713



病原体情報  
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 手足口病 / 咽頭結膜熱 / 無菌性髄膜炎



速報  
P.6

非流行期(8月)におけるA(H3)型インフルエンザウイルスの分離例 - 沖縄県



海外感染症情報  
P.7

ギニアで黄熱の流行 / コートジボワールで黄熱の流行 - 更新 / 西アフリカでコレラ流行 - 更新



感染症の話  
P.8-10

百日咳  
DPT三種混合ワクチンの普及とともに各国で発生数は激減しているが、接種を行っていない者での発病は我が国でもまだ見られている



読者のコーナー  
P.11



グラフ総覧(38週)  
P.12-18



38週のデータ  
P.19-26



# 発生動向総覧

第38週コメント 9月28日集計分

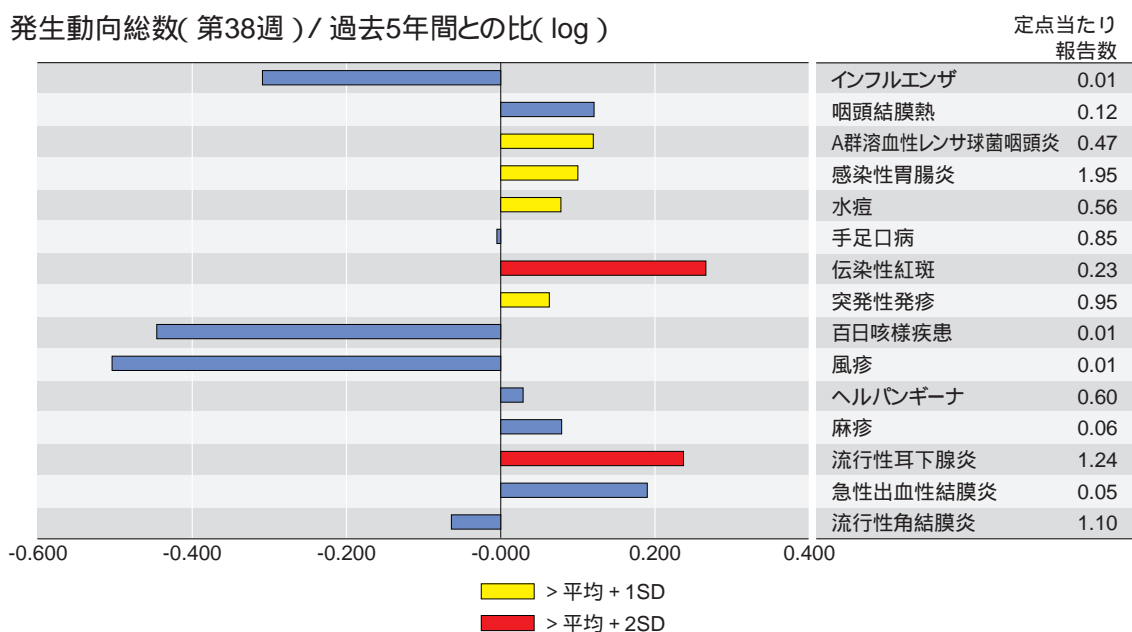
## 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例( 推定感染地: フィリピン )、細菌性赤痢8例( 推定感染地: 国内1例、インド3例、タイ、トルコ各2例 )
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症98例( うち兵庫県が18例。腸管出血性大腸菌感染症の詳細な情報については4ページ「注目すべき感染症」を参照。)
- 4類感染症: アメーバ赤痢9例、クリプトスポリジウム症1例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例( すべて孤発性 )、ジアルジア症2例、ツツガムシ病1例、日本紅斑熱1例( 宮崎県 )、日本脳炎1例( 和歌山県、61歳 )、破傷風1例( 東京都、67歳 )、レジオネラ症1例、急性ウイルス性肝炎7例
  - A型6例
  - B型1例\_\_感染経路: 性行為
- 後天性免疫不全症候群16例( AIDS 7例、無症候性キャリア9例 )
  - 感染経路: 不明3例、性行為13例( 同性間8例、異性間5例 )
- 梅毒8例( 早期顕症3例、無症候5例 )
- マラリア3例 熱帯熱マラリア2例\_\_推定感染地: ナイジェリア、マリ各1例
  - 卵形マラリア1例\_\_推定感染地: インドネシア

## 定点把握の対象となる4類感染症( 週報対象のもの )

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は第34週より定点当たり報告数が増加傾向にあり、第38週の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べやや多くなっている。今後、年末・年始のピークシーズンに向け患者数の増加が予想される。伝染性紅斑は例年であれば最も患者数が少ない時期であるが、過去5年間の同時期と比較してかなり定点当たり報告数が多くなっている。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少傾向にあるものの、第19週よりここ10年間で最大の定点当たり報告数が持続している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が多くなっているのは、石川県( 6.6 )、沖縄県( 4.2 )、佐賀県( 3.1 )、富山県( 3.5 )などである。流行性角結膜炎は、宮崎県で定点当たり報告数7.3、香川県で5.3と多くなっている。

発生動向総数( 第38週 ) / 過去5年間との比( log )

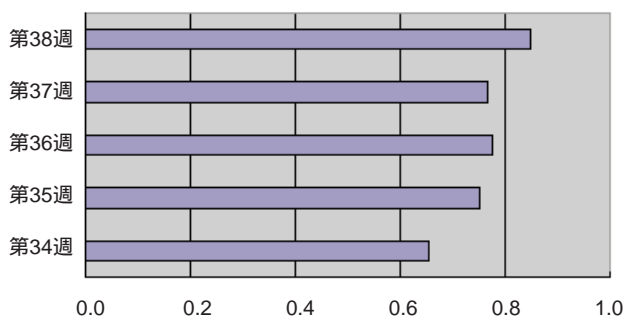


当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 ) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

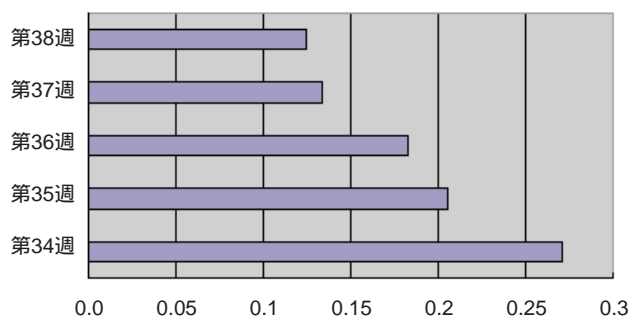
## 最近の注目疾患－5週間の動き

手足口病はここ5週間で定点当たり報告数は漸増している。咽頭結膜熱は順調に定点当たり報告数が減少している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週とほとんど変わらず、例年より報告数が多い状態が持続している。基幹病院定点からの報告疾患である無菌性髄膜炎は、前週より定点当たり報告数が増加した。同じく、基幹病院定点からの報告疾患であるマイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少した。

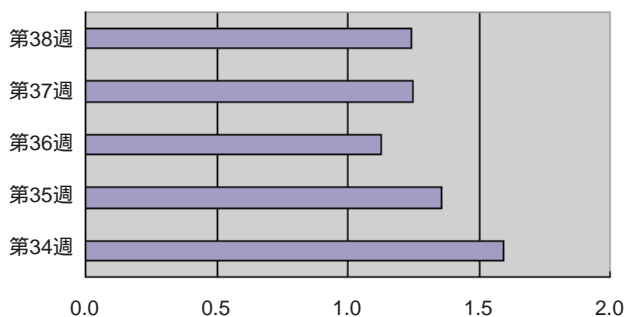
手足口病



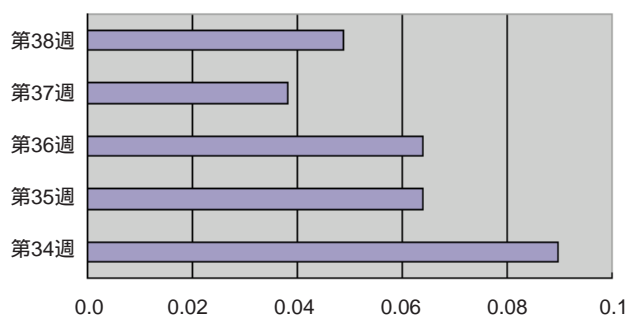
咽頭結膜熱



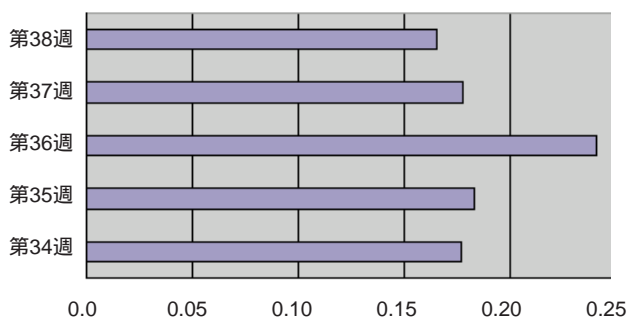
流行性耳下腺炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

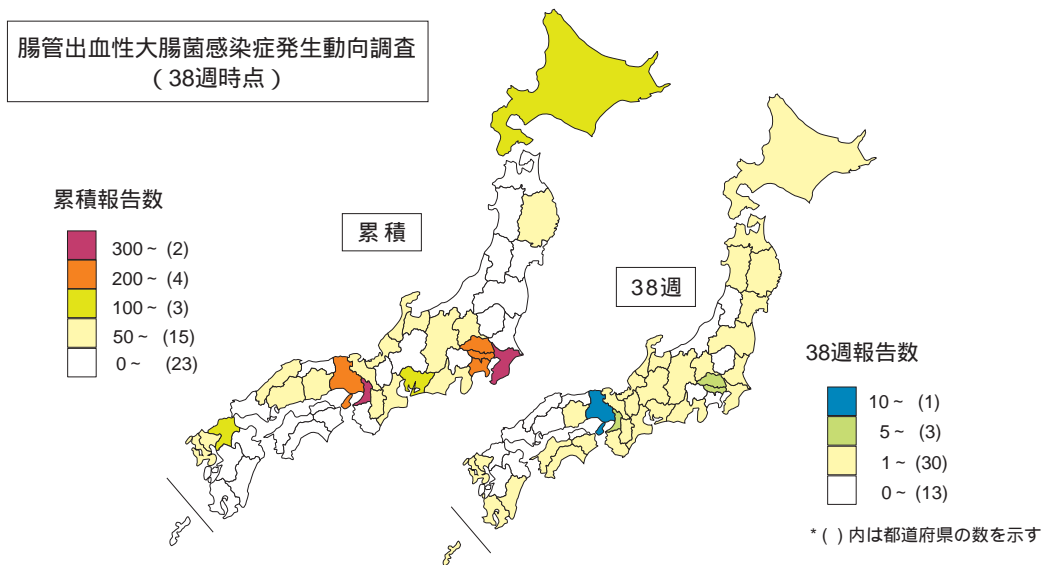


# 注目すべき感染症

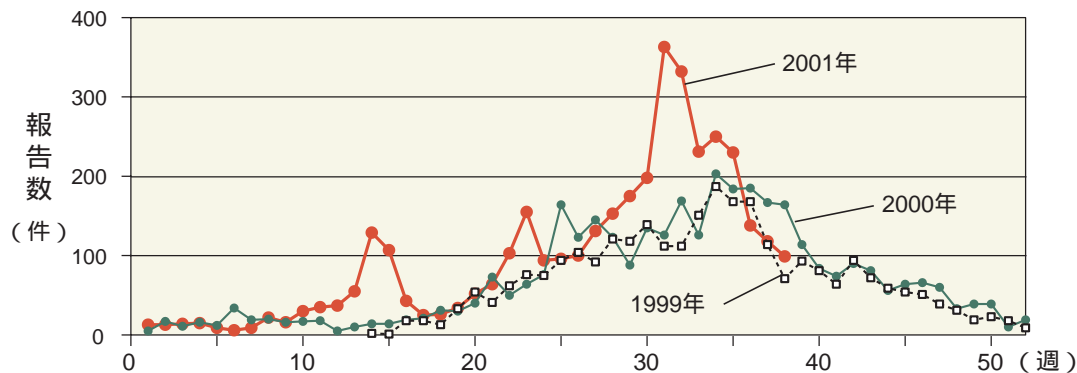
## 腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2001年には早期から複数のO157による集団感染事例が発生した影響で、昨年、一昨年に比べ早い時期から報告件数が多くなっている。第38週の報告数は98例で、都道府県別では、兵庫県(18例)、東京都、大阪府(各8例)、埼玉県(6例)などの報告が多かった。98例のうち有症者は60例で、HUS症例が1例報告されている。

第38週時点での今年の累積報告数は3,713例であり(昨年同期2,711) 都道府県別では千葉県(350例)、大阪府(301例)、東京都(296例)、神奈川県(246例)、兵庫県(225例)などからの報告が多い。本年度の累積報告数を年齢階級別にみると、0～4歳が最も多く(817例)、次いで5～9歳(518例)、10～14歳(340例)が多くなっている(病原体については5ページを参照)。



腸管出血性大腸菌感染症(無症状保菌者含む)発生状況





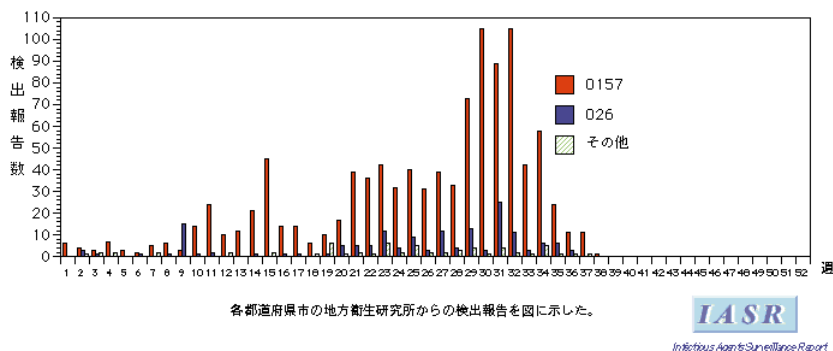
# 病原体情報

\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。  
(2001年9月28日現在報告分)

## ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2001年

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が1,037件、O26が157件である。最近では、O157が第36週に11件(埼玉県7、富山県3、東京都1)、第37週に11件(埼玉県5、東京都3、富山県2、熊本市1)、第38週に1件(富山県1)、O26が第36週に3件(埼玉県1、富山県1、長崎県1)の報告があった。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2001年 (病原微生物検出情報: 2001年9月28日現在報告数)

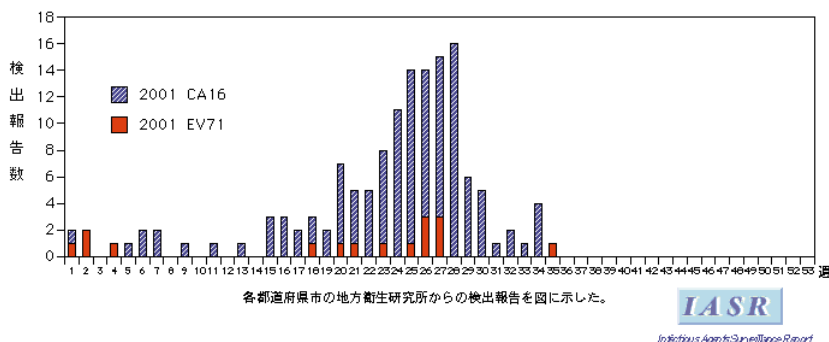


## 手足口病患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、CA16が115件(長野県13、愛知県12、愛媛県11、福岡県10、埼玉県9、山形県8、秋田県7、熊本県7など)、EV71が9件(長野県3、愛媛県3、東京都1、川崎市1、広島県1)、CA6が12件(島根県7、奈良県4、愛媛県1)、CA4が9件(香川県6、秋田県2、島根県1)、CA2が1件(長野県1)、CA10が1件(島根県1)、CB4が1件(北九州市)、CB5が1件(滋賀県1)、E11が4件(広島市3、熊本市1)である。

週別エンテロウイルス71型、コクサッキーA16型分離報告数、2001年

(病原微生物検出情報: 2001年9月28日現在報告数)



## 咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、アデノウイルス3型102件(仙台市26、長野県21、新潟県13、愛知県8、愛媛県6、東京都4、川崎市4、奈良県4、札幌市3、大分県3、鳥取県2など)、2型23件(仙台市11、長野県3、兵庫県3、新潟県2など)、1型8件(愛知県2、広島市2、兵庫県、北九州市、熊本県、熊本市各1)、4型6件(札幌市2、新潟県2、兵庫県、福岡市各1)、5型6件(兵庫県2、仙台市、岡山県、島根県、北九州市各1)、7型3件(北九州市3)である。

## 無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、ムンプスウイルス36件(東京都10、新潟県7、広島県4、大阪府3、愛媛県3、京都市2、香川県2など)、エコーウイルス(E)110件(11型80、6型19、3型3、18型3、25型2、9型1、16型1、21型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)78件(5型60、3型9、4型8、6型1)、A群コクサッキーウイルス(CA)8件(9型6、4型1、6型1)、エンテロウイルス71型(EV71)1件である。



## 非流行期( 8月 )におけるA( H3 )型インフルエンザウイルス の分離例 - 沖縄県

非流行期の2001年8月29日採取検体より、A( H3 )型インフルエンザウイルスが1例分離されたので報告する。

患者は20歳の男性で8月28日に発症し、翌29日に沖縄本島南部の中央保健所管内の病院を受診。40 の発熱、筋肉痛、関節痛等の症状からインフルエンザが疑われた。病院で採取された咽頭ぬぐい液をMDCK細胞に接種したところ、2継代目でCPEが観察された。この培養上清について、ガチョウ赤血球を用いた赤血球凝集( HA )試験を行ったところ、HA価は16を示した。国立感染症研究所より分与された2000/01シーズン検査キットの抗血清を用いてHI試験を行った結果、A/Moscow/13/98( H1N1 )およびA/New Caledonia/20/99( H1N1 )に対してはそれぞれHI価10以下、A/Panama/2007/99( H3N2 )に対してはHI価2,560( ホモ価1,280 )を示したことから、A( H3 )型インフルエンザウイルスと同定された。

今回は2001/02シーズンに入る直前の検体から分離されたことから、その後の動向に注意し監視を続けているが、9月25日現在まで新たな分離例は報告されていない。

沖縄県感染症情報センター

宮城朝光 下地実夫 本成 充

微生物室

平良勝也 中村正治 糸数清正 久高 潤 安里龍二

( IASR2001年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )





## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### ギニアで黄熱の流行

WHO/CSR 2001年9月25日

9月24日までに保健省は、Conakryで死亡2名を含む黄熱疑い患者18名が発生し、そのうち2名が確定診断されたと報告した。以上に加えて、Nzerekore地区でも黄熱疑い患者11名の発生が報告されている。黄熱の診断検査試薬の在庫がなくなっており、検体はバリのパスツール研究所に送付されている。保健省は、WHO、UNICEF、フランスおよびカナダ政府、国境なき医師団( MSF )、および赤十字、Red Crescent協会、ギニア赤十字からなる国際的連合組織などが参加した国立流行対策委員会を設立した。

治療センターがDonka National Hospitalに置かれ、サーベイランスが強化され、Conakryの流行地区で媒介動物対策が行われている。

### コートジボワールで黄熱の流行 - 更新

WHO/CSR 2001年9月25日

9月24日までに保健省は、コートジボワールの20地区で確定患者22名と死亡20名を含む黄熱患者169名の発生を報告した。首都アビジャンでは、死亡7名を含む黄熱疑い例42名が発生し、そのうち7名が確定診断された。

290万人を対象とした予防接種キャンペーンが9月21日の14時に開始され、3日間(9月21～23日)でほぼ775,000人が予防接種を受けた。現在、媒介動物対策とともにサーベイランスが積極的に行われており、予防接種に続いて起こる副反応のサーベイランス計画も開始された。

現在、在庫がある30万人分のワクチンを補うために、200万人分のワクチンが9月第4週にアビジャンに届けられた。このワクチンも9月28日に枯渇するものと予測される。さらに60万人分のワクチンが必要であり、WHOはワクチンを入手するために協力機関と緊密に活動している。WHOは、集団予防接種計画に必要な不可欠なワクチンの急送について援助要請に乗り出した。

### 西アフリカでコレラ流行 - 更新

WHO/CSR 2001年9月26日

ブルキナファソ: 2001年7月14日から9月16日の間に、トーゴとの南部国境近くにあるTenkodogo地域のOurgaye地区で、コレラ患者314名、死亡6名(致命率1.9%)が報告された。検査でコレラ菌( *Vibrio cholerae* )が確認された。保健省は予防対策を実施している。

コートジボワール: 9月21日現在、コートジボワール全域で5月から9月の間にコレラ患者3,152名、死亡175名の発生が報告された。アビジャンではコレラ患者2,012名、死亡51名の発生が報告された。国境なき医師団( MSF )とEpicentreの支援により、保健省は治療およびコレラ流行の征圧対策を実行している。

#### < 新規報告 >

ギニア: 2001年8月6日から9月23日の間に、同国の南東部にあり、東部でコートジボワールと、南部でリベリアと国境を接するNzerekore地域で、コレラ患者155名、死亡者12名の発生が報告された。WHO、および赤十字とRed Crescent協会からなる国際的連合組織に支援された保健省は、安全な飲み水の供給の改善に従事するとともに、衛生教育および予防対策を実施している。



## 感染症の話

### 百日咳

百日咳( pertussis, whooping cough )は、特有の咳そう発作を特徴とする急性気道感染症である。母親からの移行抗体が期待できず、乳児期早期から罹患するが、1歳以下の乳児、ことに生後6カ月以下では死に至る危険性も高い。百日咳ワクチンを含むDPT三種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風)は我が国を含めて世界各国で実施されており、その普及とともに各国で百日咳の発生数は激減している。しかし、ワクチン接種を行っていない人での発病は我が国でもまだ見られており、世界各国ではまだ多くの流行が発生している。ジフテリアと同様、ワクチン接種が滞れば再び流行の可能性のある感染症である。

#### 疫学

我が国における百日咳患者の届け出数は、ワクチン開始前には10万例以上あり、その約10%が死亡していた。百日咳(P)は1950年から予防接種法によるワクチンとして定められ、1958年の改正からはジフテリア(D)と混合のDP二種混合ワクチンとして使われた。1968(昭和43)年からは、破傷風(T)を含めたDPT三種混合ワクチンが定期接種として広く行われるようになった。これらのワクチンの普及とともに患者の報告数は減少し、1971年には206例、1972年には269例で、この時期に世界で最も罹患率の低い国となった。

しかし、1970年代からDPTワクチン、ことに百日咳ワクチンによるとされる脳症などの重篤な副反応発生が問題となり、1975年2月にDPTワクチンは一時中止となった。接種開始年齢を引き上げるなどで同年4月から再開されたが、接種率の低下は著しく、あるいは、DPTでなくDTの接種を行う地区も多く見られた。その結果、1979年には年間の届け出数が約13,000例、死亡者数が約20～30例に増えた。

その後、我が国で百日咳ワクチンの改良研究が急いで進められた。それまでの全菌体ワクチン(whole cell vaccine)から無細胞ワクチン(acellular vaccine)が開発され、1981年秋から無細胞(精製、とも表現する)百日咳ワクチン(aP)を含むDPT三種混合ワクチン(DTaPとも表現する)が導入され、その結果、再びDPTの接種率は向上した。

また、この時期の1981年7月から「百日せき様疾患」として感染症発生動向調査が開始され、旧伝染病予防法での届出数の約20倍の患者数が報告されるようになった。1982年には全定点からの報告数が23,675(一定点当たり12.59)で、その後は徐々に減少しながら約4年毎に増加するパターンを示し、1997年には2,708(同1.12)、1998年には2,313(同0.97)に減少した。1999年4月施行の感染症法の元では「百日咳」として定点把握疾患の扱いであり、全国約3,000の小児科定点からの報告がされているが、2,000年の1年間では約3,800例であった。本年2001年に関しては今のところ、例年より少ない報告数である。

WHOの発表によれば、世界の百日咳患者数は年間2,000～4,000万人で、その約90%は発展途上国の小児であり、死亡数は約2～3万例であるとされる。

#### 病原体

グラム陰性桿菌である百日咳菌 *Bordetella pertussis* の感染によるが、一部はパラ百日咳菌 *Bordetella parapertussis* も原因となる。感染経路は、鼻咽頭や気道からの分泌物の飛沫感染である。



百日咳菌は病原因子として毒素と吸着因子を有する。前者には百日咳毒素(PT)、気管上皮細胞毒素、アデニル酸シクラーゼ、易熱性皮膚壊死毒素などがあり、後者には凝集原(線毛)、パータクチン(69kD外膜蛋白)、線維状赤血球凝集素(FHA)などがある。

### 臨床症状

カタル期(約2週間持続): 通常7～10日間程度の潜伏期を経て、普通のカゼ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなる。

痙咳期(約2～3週間持続): 次第に特徴ある発作性けいれん性の咳(痙咳)となる。これは短い咳が連続的に起こり、続いて、息を吸う時に笛の音のようなヒューという音が出る(レプリーゼ: Reprise, whoop)。しばしば嘔吐を伴う。発熱はないか、あっても微熱程度である。息を詰めて咳をするため、顔面の静脈圧が上昇し、顔面浮腫、点状出血、眼球結膜出血、鼻出血などが見られることもある。非発作時は無症状であるが、何らかの刺激が加わると発作が誘発される。年齢が小さいほど症状は非定型的であり、乳児期早期では特徴的な咳がなく、単に息を止めているような無呼吸発作からチアノーゼ、けいれん、呼吸停止と進展することがある。また、機序は不明であるが脳症の合併も重要な問題である。1992～1994年の米国での調査によると、致命率は全年齢児で0.2%、6カ月未満児で0.6%とされている。

回復期: 激しい発作が次第に減衰し、時折忘れた頃に発作性の咳が出る。全経過約2～3カ月で回復する。

成人の百日咳では咳が長期にわたって持続するが、典型的な発作性の咳嗽を示すことはなく、やがて回復に向かう。軽症で診断が見のがされやすいが、菌の排出があるため、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源として注意が必要である。これらの点から、成人における百日咳の免疫状況に今後注意していく必要がある。

アデノウイルス、マイコプラズマ、クラミジアなどでも同様の発作性の咳嗽を示すことがあり、鑑別診断上注意が必要である。

臨床検査では、小児の場合には白血球数が数万/mm<sup>3</sup>に増加することもあり、分画ではリンパ球の異常増多がみられる。しかし、赤沈やCRPは正常範囲か軽度上昇程度である。

### 病原診断

確定診断のためには、鼻咽頭からの百日咳菌の分離同定が必要である。同定にはBordet-Gengou培地やcyclodextrin solid medium(CSM)培地などの特殊培地を要する。

血清診断では百日咳菌凝集素価の測定が行われることが多く、東浜株および山口株を用い、ペア血清で4倍以上の抗体価上昇があるか、シングル血清で40倍以上であれば診断価値が高い。また最近では、ELISA法にて抗PT抗体、抗FHA抗体の測定も時に行われる。

研究室レベルでは、菌の染色体DNA解析、PCR法などによる病原体遺伝子の検出も行われる。

### 治療・予防

エリスロマイシン、クラリスロマイシンなどのマクロライド系抗菌薬が用いられる。これらは特にカタル期では有効である。通常、患者からの菌の排出は咳の開始から約3週間持続するが、エリスロマイシンなどによる適切な治療により、服用開始から5日後には菌の分離はほぼ陰性となる。菌の再排泄などを考慮すると、抗生剤の投与期間として2週間は必要であると思われる。痙咳に対しては鎮咳去痰剤、場合により気管支拡張剤等が使われる。全身的には水分補給も必要なことがあり、重症例では抗PT抗体を期待してガンマグロブリン大量投与も行われる。

世界各国がEPI( Expanded Program on Immunization : 拡大予防接種事業 )ワクチンの一つとして、DPTワクチンの普及を強力に進めている。

我が国で現在使われている無細胞百日咳ワクチンを含むDPT三種混合ワクチンは、第1期初回として生後3～90カ月( 標準的には生後3～12カ月 )に3回、その12～18カ月後に追加接種を行い、11～12歳には、百日咳を除いたDT二種混合ワクチンにより第2期接種が行われている。

我が国の無細胞百日咳ワクチンの有効成分はPTとFHAが主であるが、その量比率はメーカーにより異なっている。さらに、それら主成分以外に凝集原、パーティクチンを含むものもある。接種後の全身および局所の副反応については、従来の全菌体ワクチンに比較して格段に少なくなっている。

### 感染症法における取り扱い

百日咳は4類感染症定点把握疾患であり、全国約3,000の小児科定点より毎週報告がなされている。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準を全て満たすもの

1. 2週間以上持続する咳嗽
2. 以下のいずれかの要件のうち少なくとも一つを満たすもの
  - ・スタックカートやレプリーゼを伴う咳嗽発作
  - ・新生児や乳児で、他に明らかな原因がない咳嗽後の嘔吐または無呼吸発作

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

### 学校保健法での取り扱い

百日咳は学校において予防すべき伝染病第2種に定められており、特有の咳が消失するまで出席停止となる。ただし、医師によりその病状から伝染のおそれがないと認められたときは、この限りではない。

( 国立感染症研究所感染症情報センター )



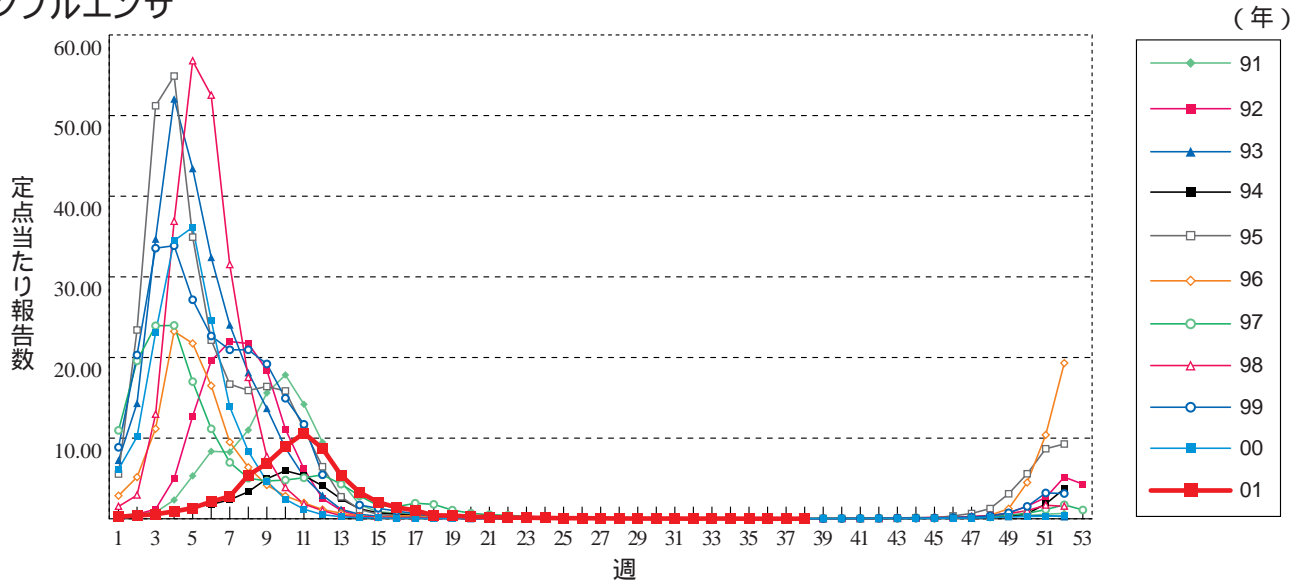
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

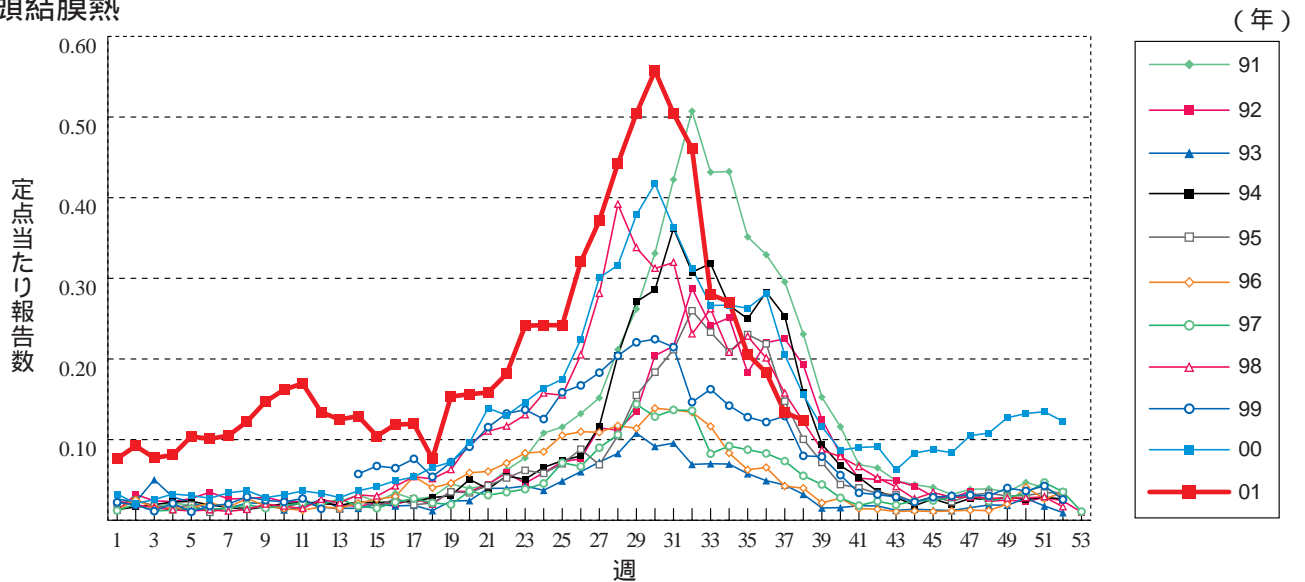
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(38週)**

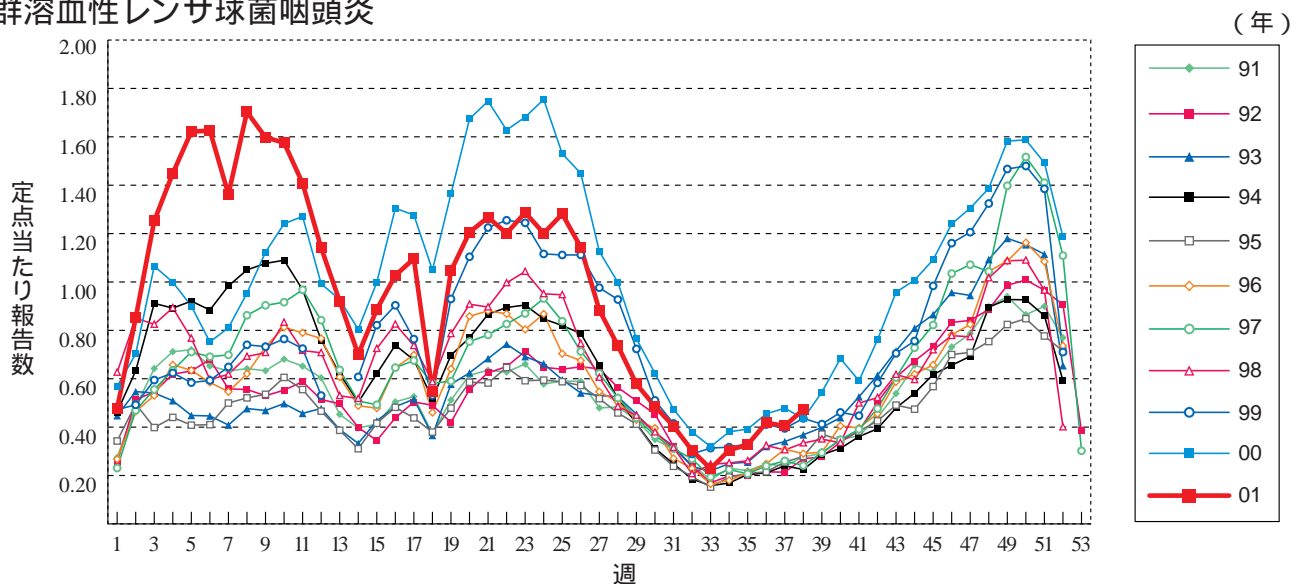
**インフルエンザ**



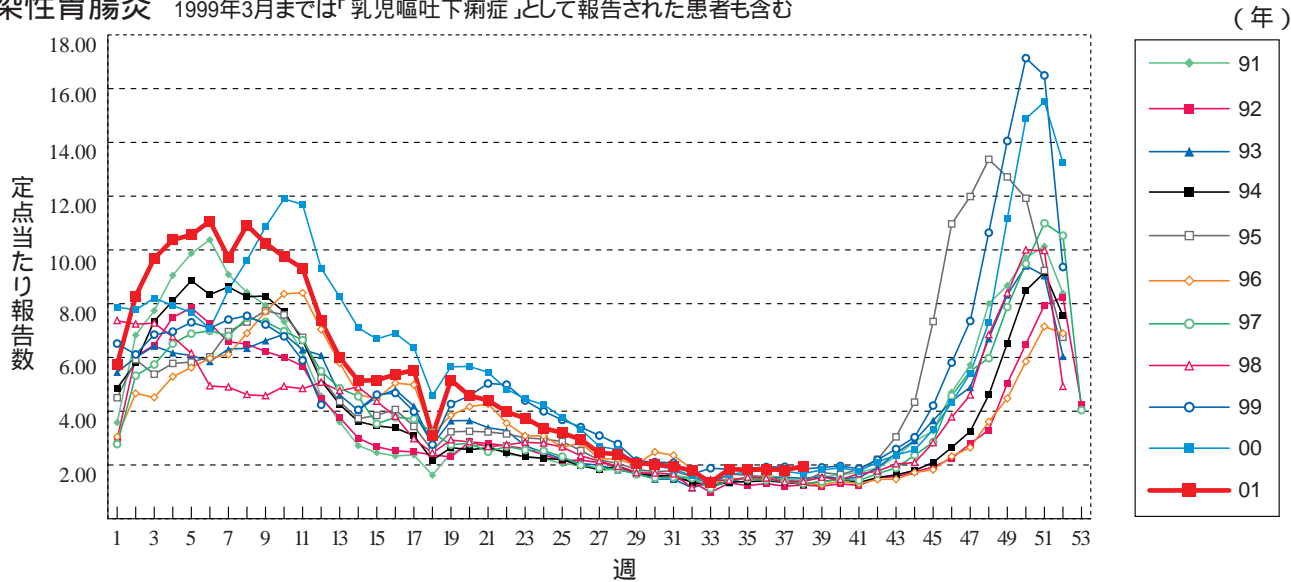
**咽頭結膜熱**



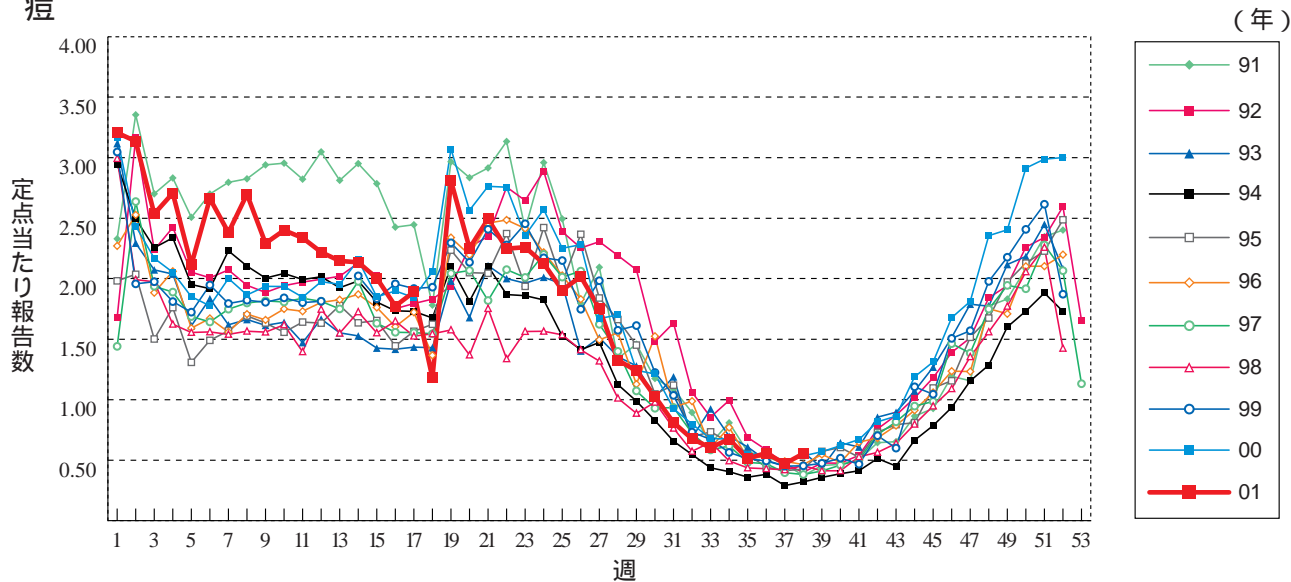
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



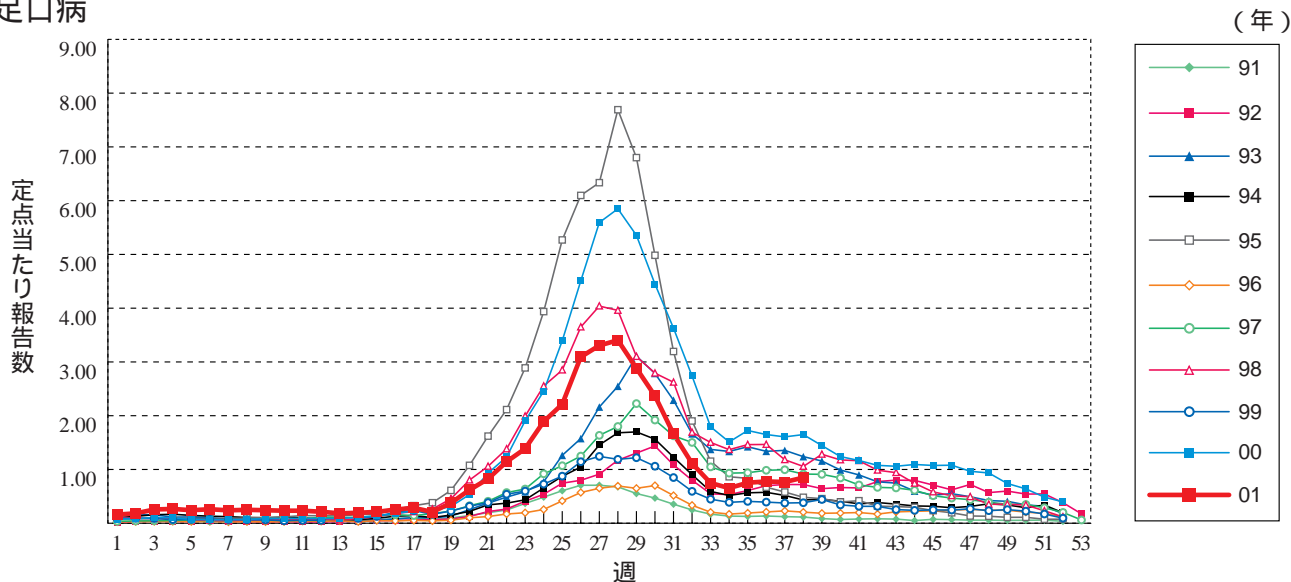
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



**水痘**

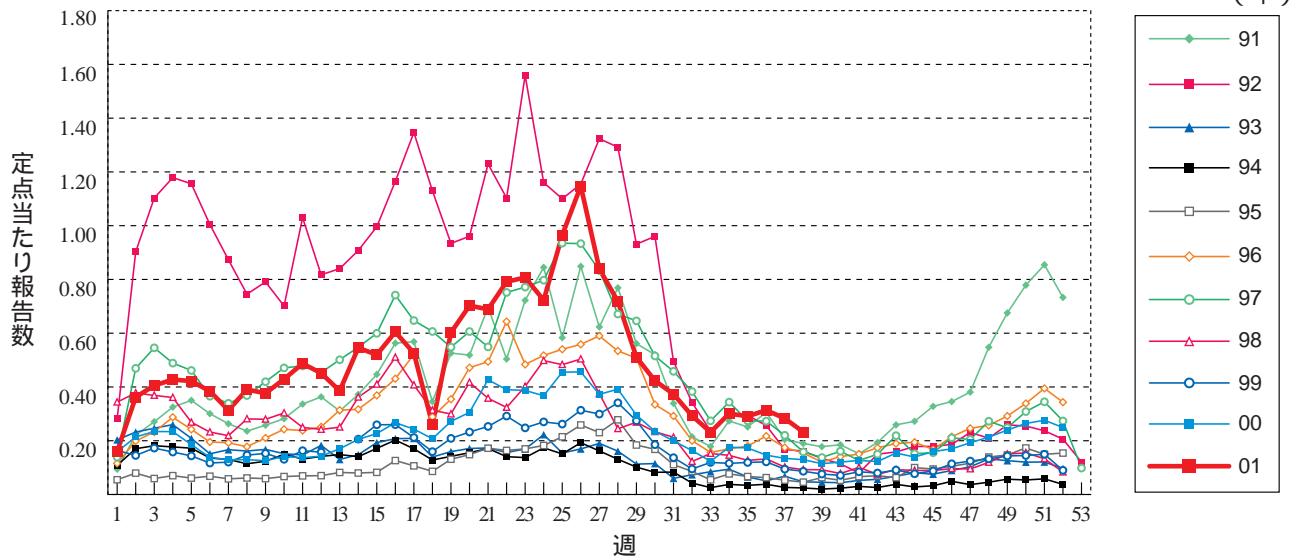


**手足口病**

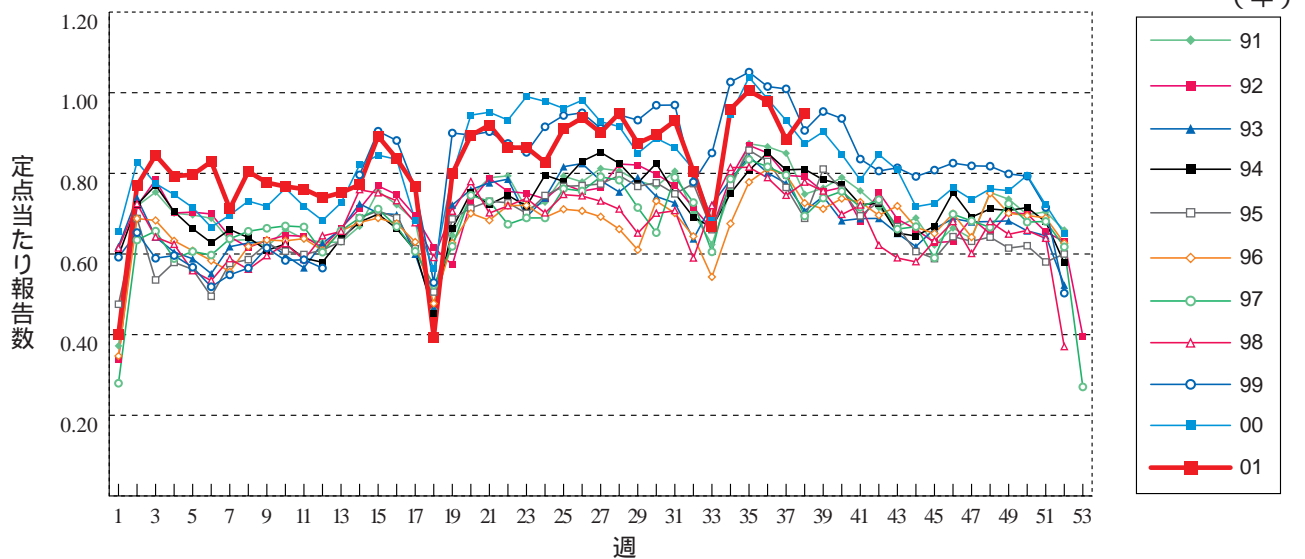




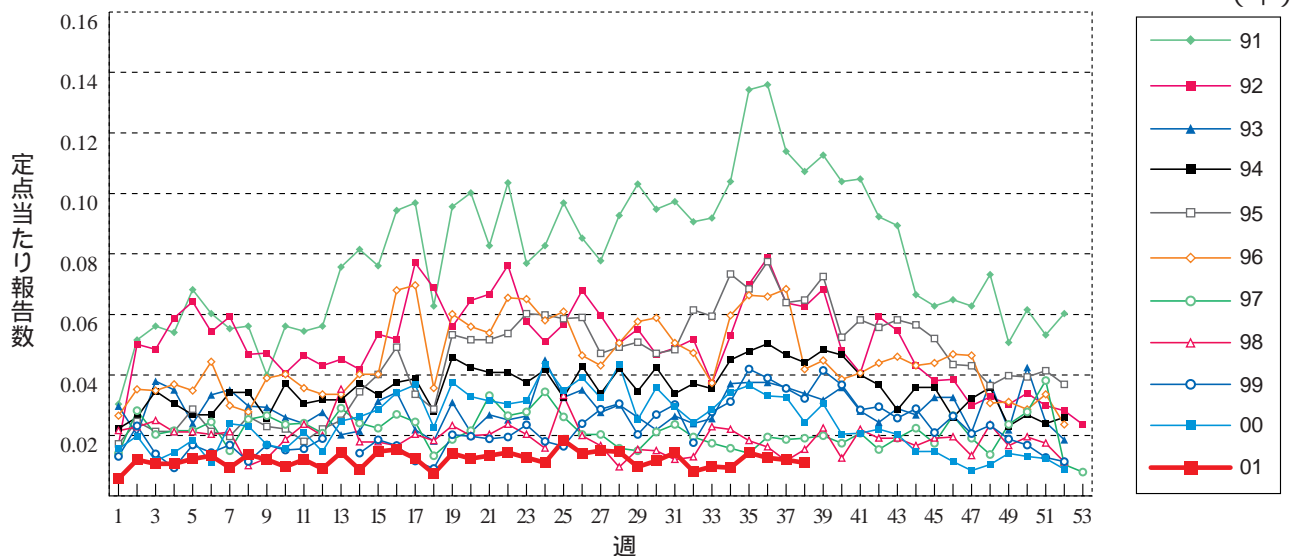
伝染性紅斑



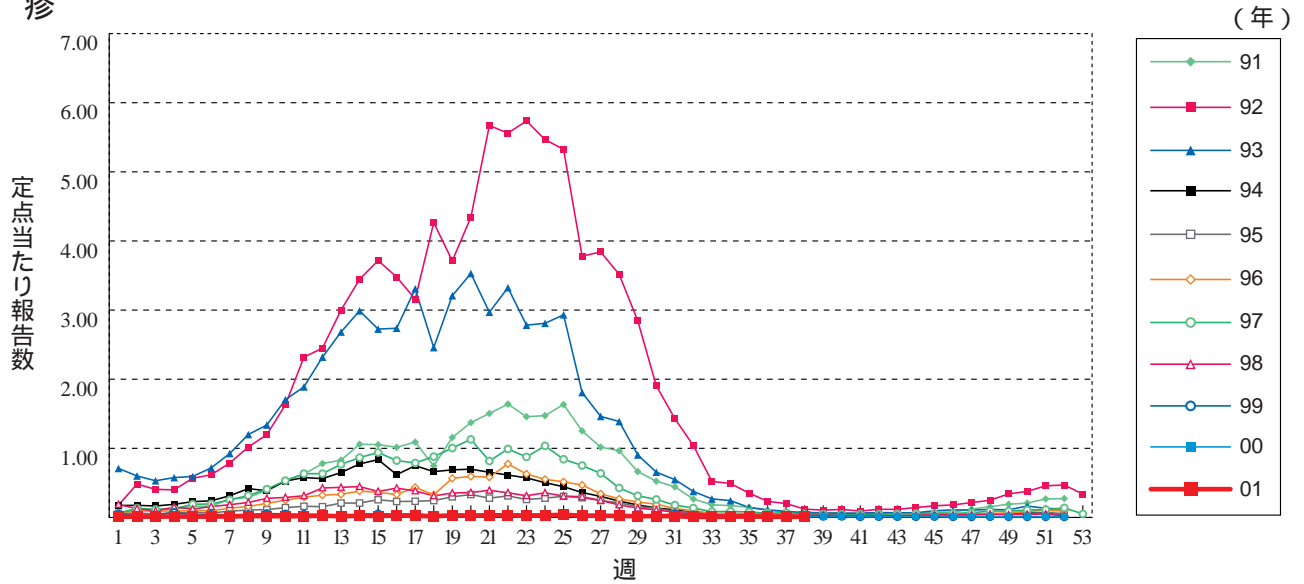
突発性発疹



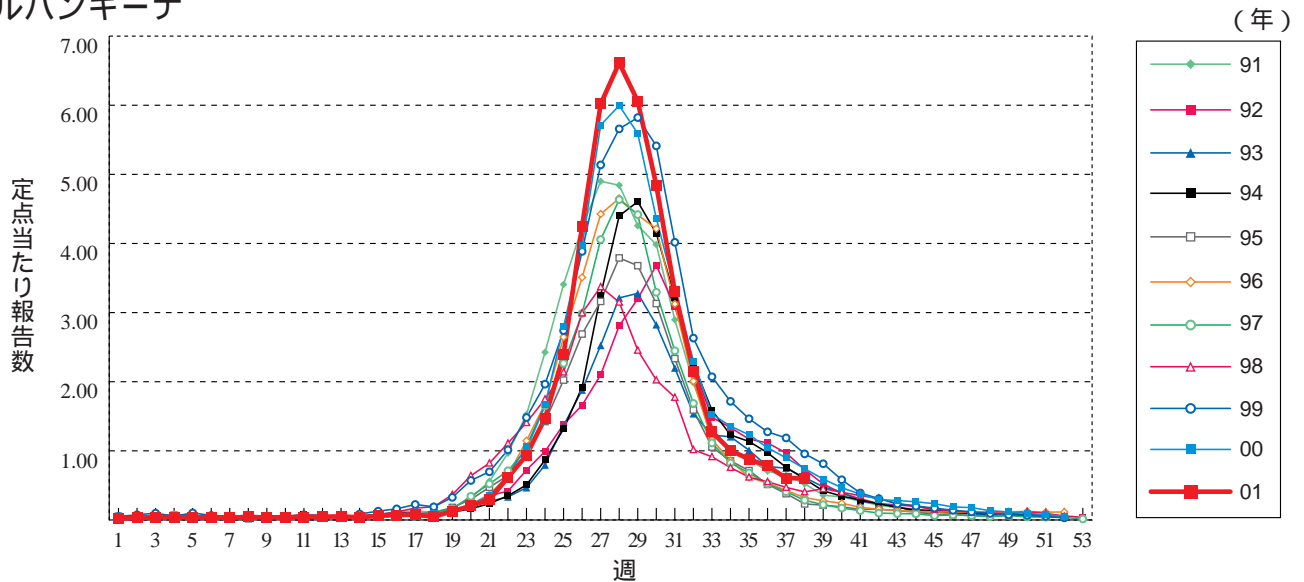
百日咳



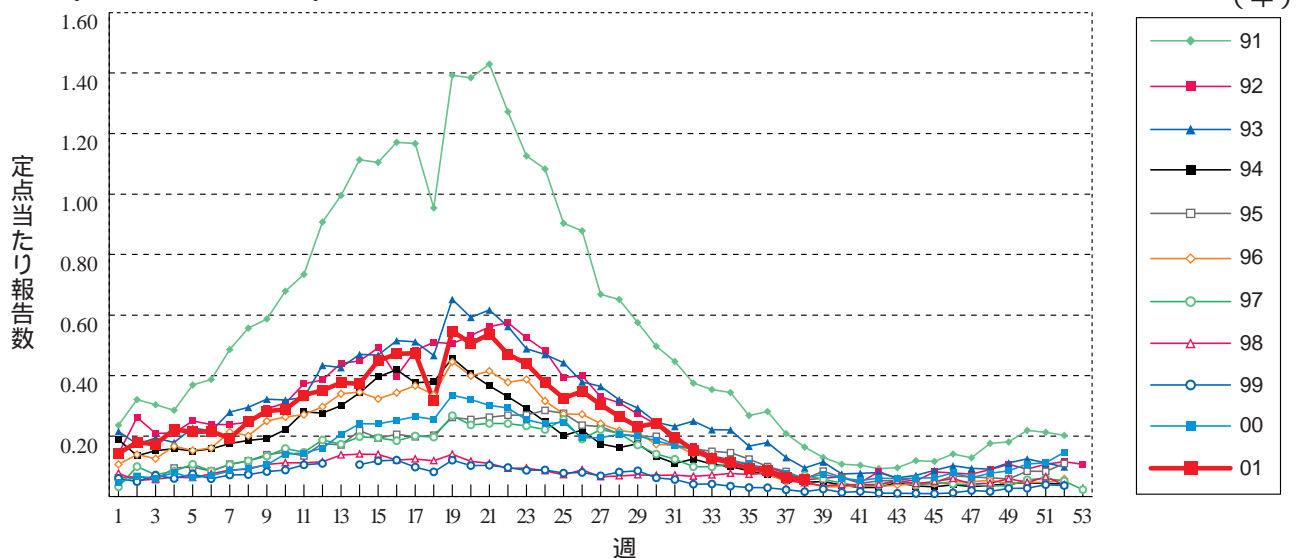
風 疹



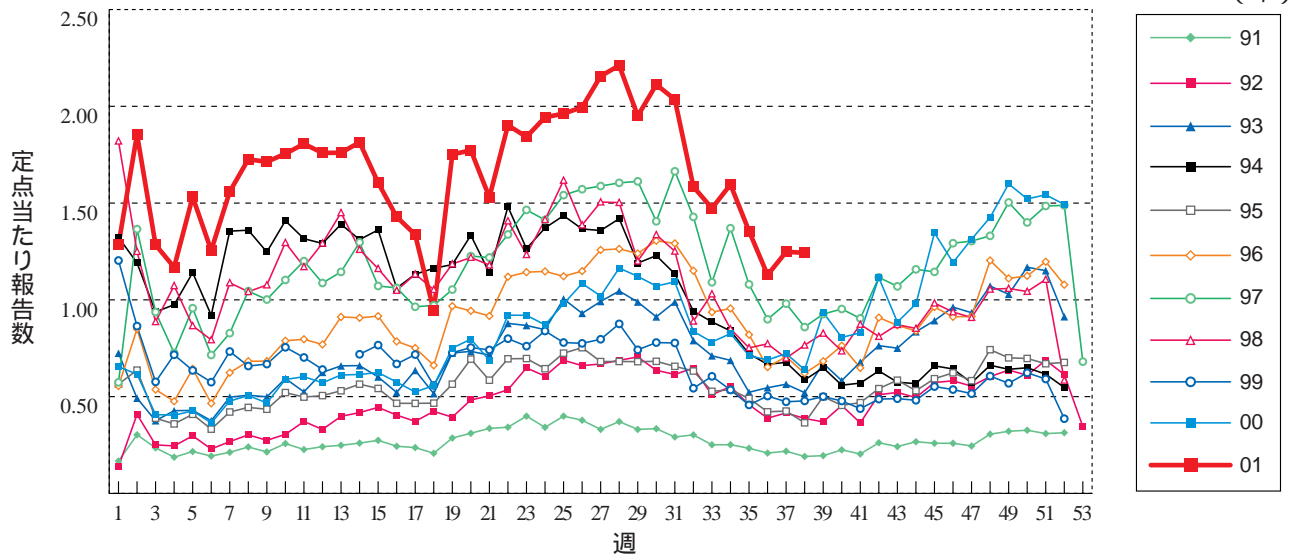
ヘルパンギーナ



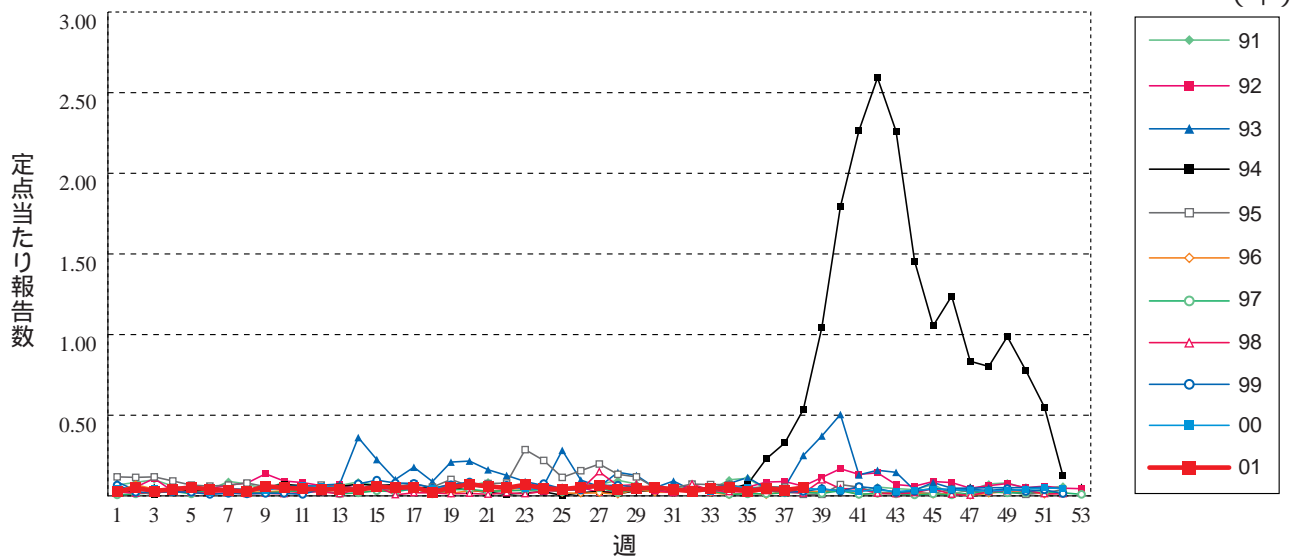
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



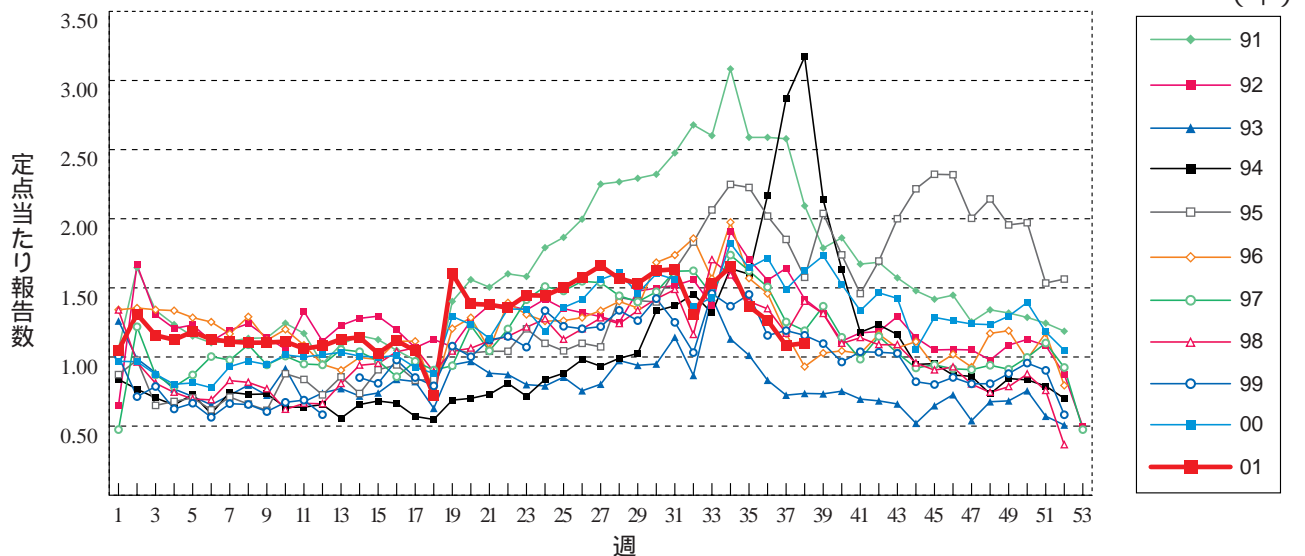
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

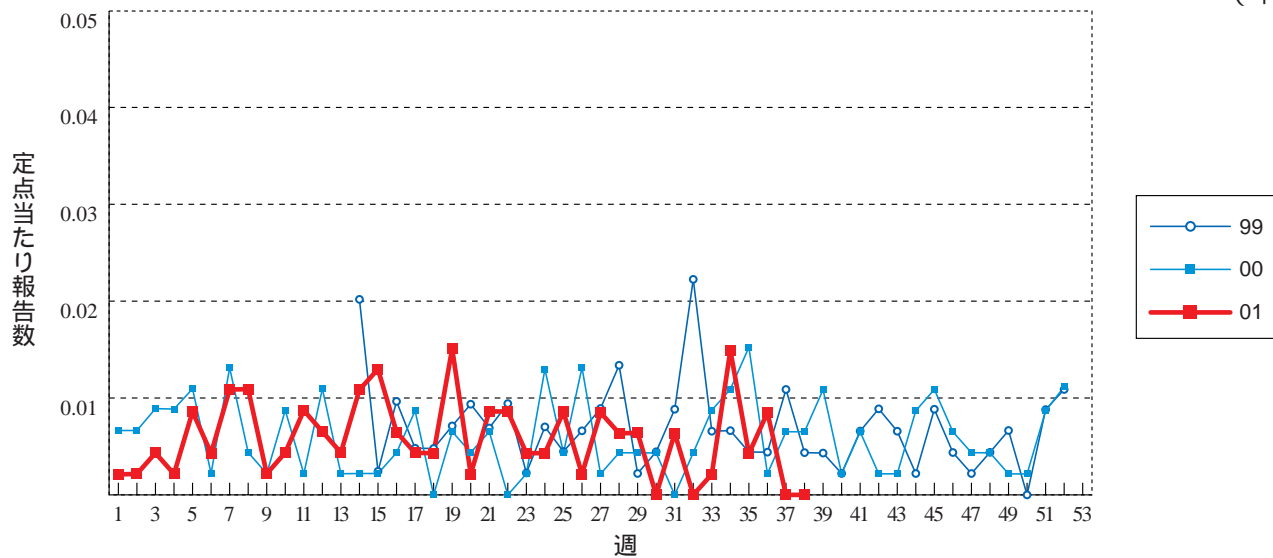


流行性角結膜炎



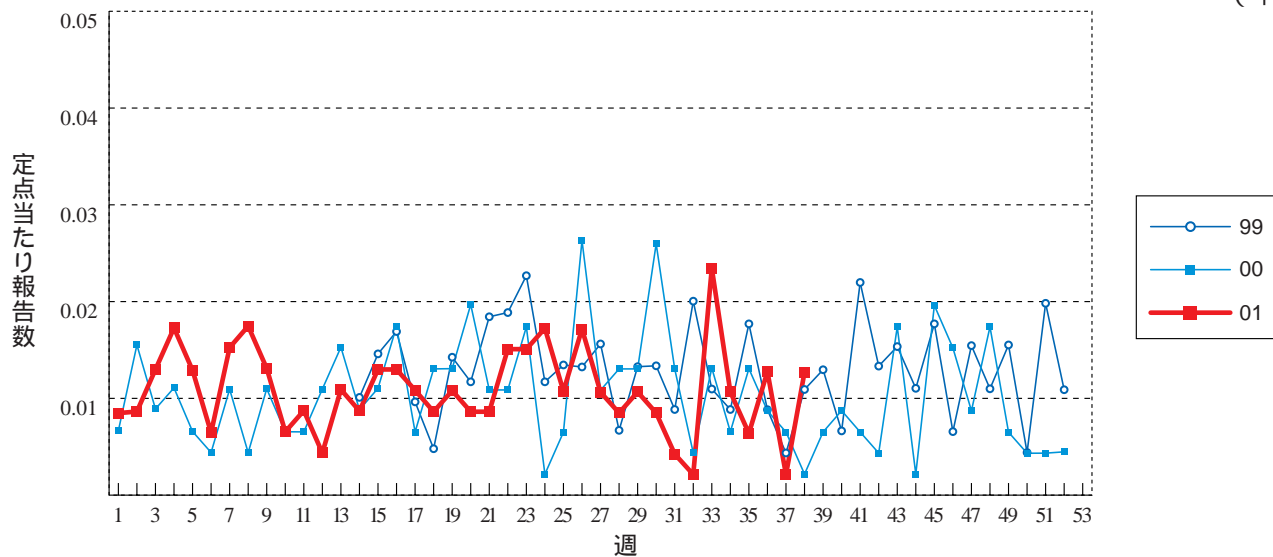
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



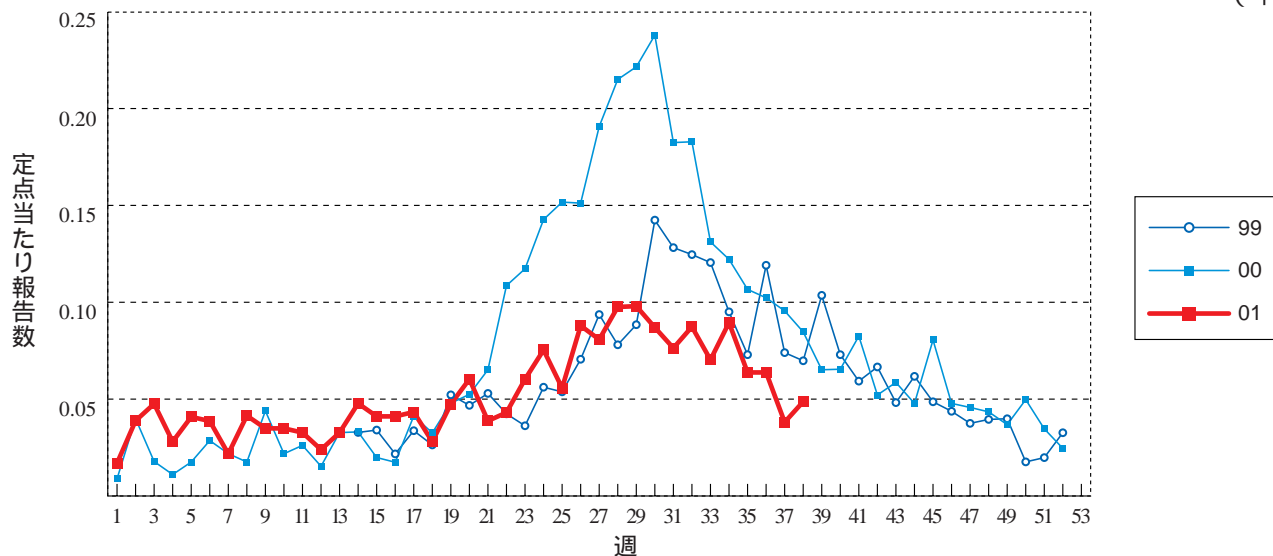
細菌性髄膜炎

(年)



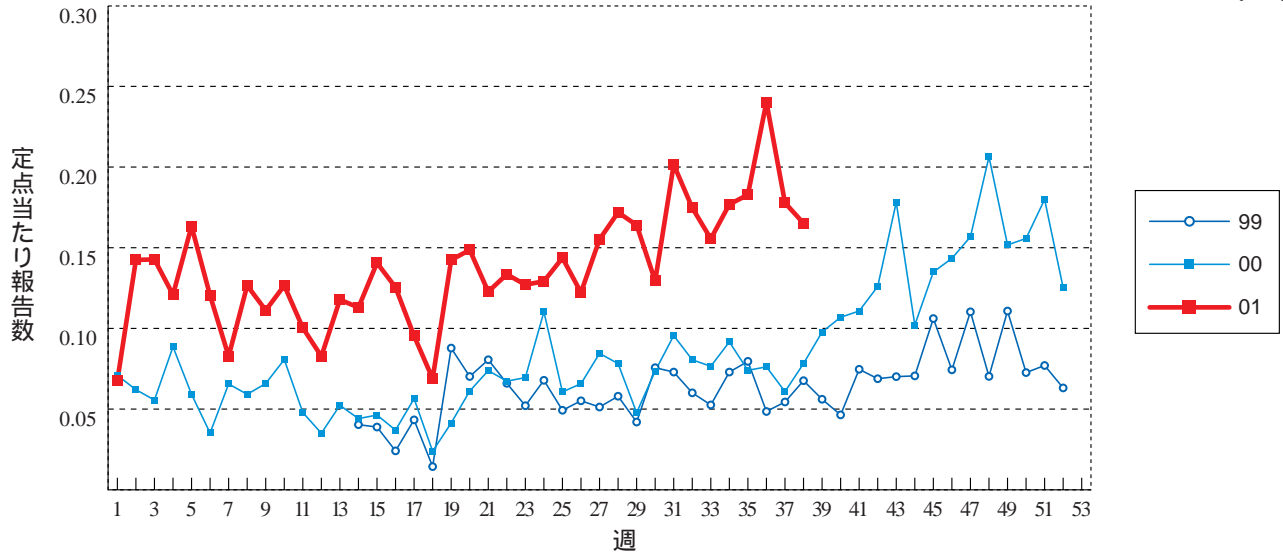
無菌性髄膜炎

(年)



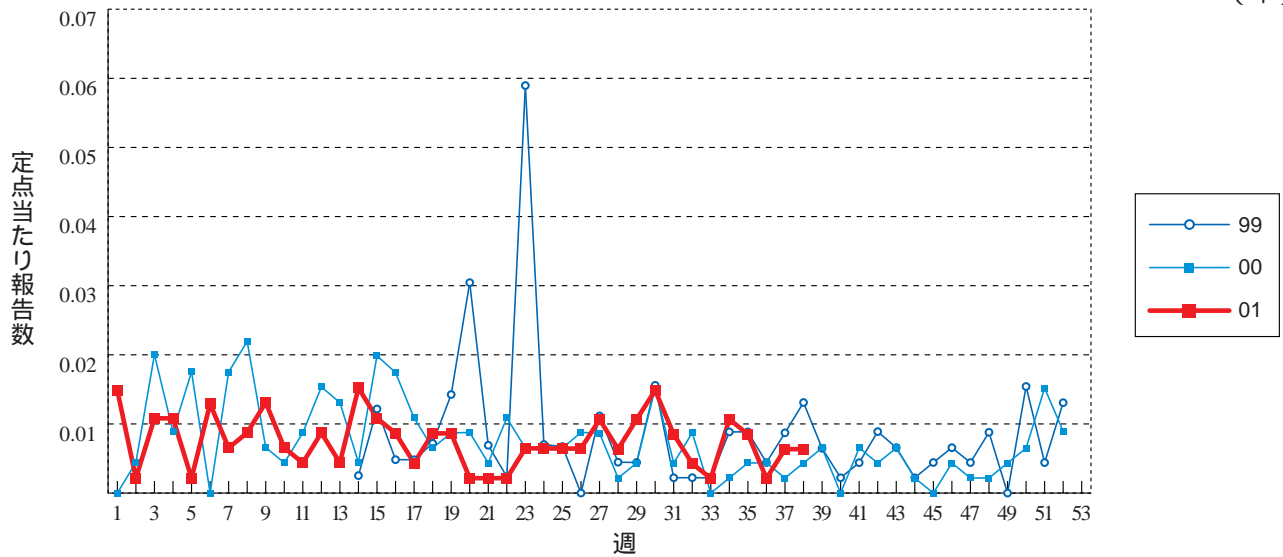
マイコプラズマ肺炎

(年)



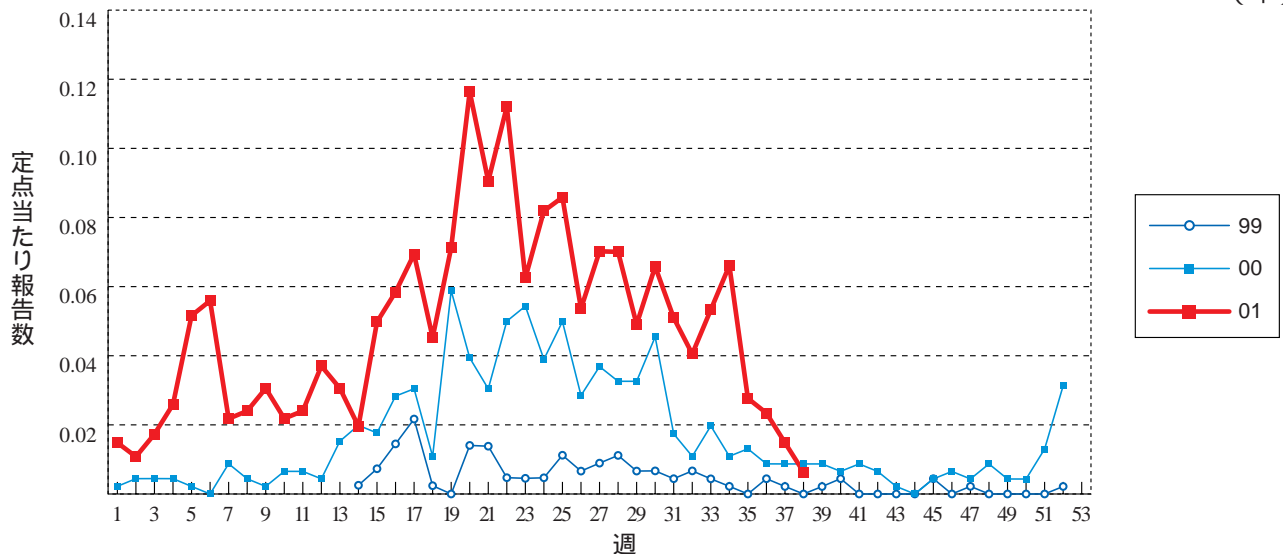
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)







### 38週のデータ

注)表中の報告数は9月28日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年38週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	39	8	486	-	52	-	12
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	15	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	22	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	4	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	2	95	-	15	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	34	-	2	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	29	-	4	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2	43	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	21	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年38週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	98	3713	9	285	-	8	-	-	-	27	-	-	7	680
北海道	-	-	-	-	1	119	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	3	40	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	1	65	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
宮城県	-	-	-	-	1	44	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	25
秋田県	-	-	-	-	2	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福島県	-	-	-	-	1	49	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	2	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
栃木県	-	-	-	-	-	20	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
群馬県	-	-	-	-	4	57	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
埼玉県	-	-	-	-	7	204	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
千葉県	-	-	-	-	3	350	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	8	296	3	83	-	-	-	-	-	7	-	-	2	106
神奈川県	-	-	-	-	-	246	-	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
新潟県	-	-	-	-	-	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	2	74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	1	51	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	2	56	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
長野県	-	-	-	-	1	57	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
岐阜県	-	-	-	-	1	20	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45
静岡県	-	-	-	-	1	50	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6
愛知県	-	-	-	-	3	152	-	10	-	-	-	-	-	5	-	-	1	16
三重県	-	-	-	-	2	76	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	1	43	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	3	83	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
大阪府	-	-	-	-	8	301	1	41	-	-	-	-	-	3	-	-	-	71
兵庫県	-	-	-	-	18	225	3	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64
奈良県	-	-	-	-	1	52	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	1	15	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	88	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2	62	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
広島県	-	-	-	-	-	78	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	19
山口県	-	-	-	-	-	43	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	1	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	1	44	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	1	16	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	-	112	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
佐賀県	-	-	-	-	3	81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	3	67	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	-	34	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
宮崎県	-	-	-	-	4	33	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
鹿児島県	-	-	-	-	4	40	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
沖縄県	-	-	-	-	1	17	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年38週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	15	-	-	1	6	4	84	-	37	16	639	-	1	2	105	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	1	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	1	2	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	16	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	25	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	48	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	1	4	-	5	-	4	7	249	-	-	1	48	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	2	-	4	-	1	-	62	-	-	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	13	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	2	14	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	28	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	11	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	2	62	-	-	-	13	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	9	-	3	1	16	-	-	1	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年38週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	1	-	-	1	200	-	35	1	26	1	2	-	-	8	385
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	15	-	-	-	-	-	-	-	73
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	17
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年38週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	59	-	32	-	-	-	-	-	-	-	-	3	78	-	11	1	49
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	2
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	1	
東京都	1	3	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	3	-	7	
神奈川県	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
岐阜県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
静岡県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	6	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	1	1	
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
徳島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1	



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年38週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	50	0.01	374	0.12	1425	0.47	5886	1.95	1671	0.55	2555	0.85	700	0.23	2859	0.95	33	0.01
北海道	10	0.04	42	0.29	162	1.12	168	1.16	90	0.62	382	2.63	13	0.09	88	0.61	-	-
青森県	1	0.02	-	-	12	0.29	33	0.79	21	0.50	70	1.67	18	0.43	24	0.57	1	0.02
岩手県	1	0.02	-	-	5	0.14	31	0.84	37	1.00	21	0.57	10	0.27	29	0.78	-	-
宮城県	-	-	9	0.15	43	0.73	153	2.59	32	0.54	79	1.34	25	0.42	64	1.08	1	0.02
秋田県	-	-	1	0.03	16	0.46	69	1.97	13	0.37	108	3.09	10	0.29	31	0.89	1	0.03
山形県	-	-	2	0.07	45	1.50	36	1.20	15	0.50	81	2.70	12	0.40	38	1.27	-	-
福島県	-	-	3	0.06	11	0.23	84	1.75	35	0.73	61	1.27	14	0.29	53	1.10	2	0.04
茨城県	-	-	2	0.03	22	0.30	139	1.90	23	0.32	50	0.68	11	0.15	37	0.51	-	-
栃木県	-	-	5	0.11	16	0.35	58	1.26	14	0.30	4	0.09	11	0.24	44	0.96	-	-
群馬県	-	-	17	0.28	30	0.49	76	1.25	51	0.84	16	0.26	7	0.11	58	0.95	1	0.02
埼玉県	2	0.01	26	0.17	85	0.54	338	2.15	106	0.68	79	0.50	26	0.17	171	1.09	3	0.02
千葉県	-	-	7	0.05	75	0.59	241	1.88	73	0.57	64	0.50	27	0.21	115	0.90	-	-
東京都	-	-	8	0.06	33	0.23	237	1.67	49	0.35	46	0.32	22	0.15	80	0.56	1	0.01
神奈川県	-	-	16	0.08	54	0.26	338	1.64	70	0.34	78	0.38	44	0.21	264	1.28	2	0.01
新潟県	-	-	22	0.37	46	0.77	99	1.65	24	0.40	108	1.80	3	0.05	47	0.78	-	-
富山県	-	-	-	-	26	0.90	38	1.31	12	0.41	18	0.62	5	0.17	32	1.10	1	0.03
石川県	-	-	-	-	3	0.10	106	3.66	10	0.34	89	3.07	6	0.21	28	0.97	-	-
福井県	-	-	1	0.05	11	0.50	82	3.73	13	0.59	65	2.95	3	0.14	15	0.68	-	-
山梨県	5	0.12	1	0.04	5	0.20	25	1.00	51	2.04	5	0.20	5	0.20	14	0.56	-	-
長野県	-	-	28	0.52	61	1.13	120	2.22	35	0.65	117	2.17	7	0.13	47	0.87	-	-
岐阜県	4	0.05	2	0.04	43	0.91	42	0.89	54	1.15	62	1.32	17	0.36	25	0.53	7	0.15
静岡県	-	-	19	0.22	14	0.16	190	2.21	34	0.40	65	0.76	20	0.23	96	1.12	-	-
愛知県	1	0.01	18	0.10	65	0.36	299	1.64	70	0.38	188	1.03	56	0.31	186	1.02	3	0.02
三重県	-	-	35	0.78	22	0.49	199	4.42	42	0.93	41	0.91	24	0.53	74	1.64	2	0.04
滋賀県	-	-	1	0.03	8	0.26	30	0.97	22	0.71	15	0.48	5	0.16	16	0.52	-	-
京都府	-	-	-	-	20	0.26	190	2.50	35	0.46	67	0.88	23	0.30	44	0.58	-	-
大阪府	5	0.02	9	0.05	53	0.27	329	1.70	71	0.37	41	0.21	34	0.18	135	0.70	1	0.01
兵庫県	-	-	11	0.09	59	0.47	330	2.62	103	0.82	42	0.33	20	0.16	145	1.15	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	17	0.49	92	2.63	18	0.51	9	0.26	8	0.23	30	0.86	-	-
和歌山県	-	-	2	0.06	12	0.39	40	1.29	31	1.00	32	1.03	5	0.16	32	1.03	1	0.03
鳥取県	-	-	1	0.05	24	1.26	58	3.05	15	0.79	52	2.74	9	0.47	22	1.16	-	-
島根県	-	-	1	0.04	8	0.35	52	2.26	10	0.43	12	0.52	2	0.09	14	0.61	-	-
岡山県	1	0.01	2	0.04	9	0.17	79	1.46	18	0.33	26	0.48	6	0.11	36	0.67	-	-
広島県	-	-	12	0.16	35	0.47	192	2.56	48	0.64	72	0.96	21	0.28	62	0.83	1	0.01
山口県	-	-	2	0.04	35	0.71	111	2.27	26	0.53	22	0.45	10	0.20	61	1.24	-	-
徳島県	-	-	-	-	8	0.35	39	1.70	26	1.13	41	1.78	6	0.26	24	1.04	-	-
香川県	-	-	1	0.03	10	0.31	49	1.53	21	0.66	77	2.41	24	0.75	27	0.84	-	-
愛媛県	-	-	7	0.18	18	0.46	117	3.00	11	0.28	28	0.72	17	0.44	55	1.41	1	0.03
高知県	-	-	3	0.10	9	0.29	40	1.29	23	0.74	5	0.16	9	0.29	37	1.19	1	0.03
福岡県	-	-	26	0.26	49	0.49	237	2.35	60	0.59	8	0.08	32	0.32	134	1.33	2	0.02
佐賀県	-	-	3	0.13	17	0.74	20	0.87	13	0.57	23	1.00	9	0.39	37	1.61	-	-
長崎県	-	-	2	0.04	10	0.21	78	1.63	20	0.42	20	0.42	18	0.38	31	0.65	-	-
熊本県	-	-	8	0.16	28	0.57	121	2.47	19	0.39	32	0.65	10	0.20	67	1.37	1	0.02
大分県	1	0.02	5	0.14	22	0.61	139	3.86	18	0.50	2	0.06	7	0.19	62	1.72	-	-
宮崎県	-	-	2	0.05	37	1.00	161	4.35	43	1.16	7	0.19	16	0.43	65	1.76	-	-
鹿児島県	13	0.13	11	0.18	20	0.33	147	2.45	36	0.60	20	0.33	11	0.18	41	0.68	-	-
沖縄県	6	0.10	-	-	12	0.35	34	1.00	10	0.29	5	0.15	2	0.06	22	0.65	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年38週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	30	0.01	1819	0.60	174	0.06	3746	1.24	32	0.05	696	1.10	-	-	6	0.01	23	0.05
北海道	3	0.02	310	2.14	7	0.05	148	1.02	-	-	41	1.41	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	85	2.02	1	0.02	39	0.93	-	-	17	1.55	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	138	3.73	3	0.08	22	0.59	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	61	1.03	4	0.07	49	0.83	-	-	10	0.91	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	92	2.63	-	-	21	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	38	1.27	1	0.03	68	2.27	-	-	1	0.13	-	-	1	0.10	-	-
福島県	-	-	26	0.54	-	-	53	1.10	-	-	13	1.08	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	1	0.01	13	0.18	2	0.03	92	1.26	1	0.06	32	2.00	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	3	0.07	3	0.07	34	0.74	-	-	20	1.67	-	-	1	0.14	1	0.14
群馬県	1	0.02	11	0.18	2	0.03	52	0.85	-	-	25	1.79	-	-	-	-	-	-
埼玉県	2	0.01	36	0.23	6	0.04	129	0.82	2	0.06	28	0.78	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	2	0.02	48	0.38	8	0.06	113	0.88	1	0.03	38	1.15	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.01	35	0.25	-	-	72	0.51	-	-	17	1.21	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	0.00	35	0.17	4	0.02	207	1.00	-	-	38	0.90	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	23	0.38	-	-	109	1.82	-	-	15	1.67	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	39	1.34	-	-	100	3.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	2	0.07	16	0.55	-	-	191	6.59	2	0.29	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	8	0.36	-	-	43	1.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	13	0.52	-	-	43	1.72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	38	0.70	1	0.02	149	2.76	-	-	14	1.40	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	7	0.15	10	0.21	58	1.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	28	0.33	2	0.02	124	1.44	-	-	7	0.35	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	-	-	54	0.30	8	0.04	239	1.31	1	0.03	40	1.14	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	15	0.33	-	-	50	1.11	2	0.17	6	0.50	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	2	0.06	1	0.03	30	0.97	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.14
京都府	3	0.04	11	0.14	-	-	56	0.74	-	-	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	82	0.42	12	0.06	202	1.05	-	-	15	0.29	-	-	1	0.08	2	0.17
兵庫県	-	-	46	0.37	4	0.03	100	0.79	-	-	27	0.79	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	16	0.46	7	0.20	36	1.03	1	0.11	13	1.44	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	10	0.32	1	0.03	51	1.65	-	-	1	0.25	-	-	1	0.09	1	0.09
鳥取県	-	-	17	0.89	3	0.16	5	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	8	0.35	-	-	19	0.83	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	12	0.22	-	-	54	1.00	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	35	0.47	9	0.12	75	1.00	2	0.10	28	1.40	-	-	-	-	4	0.17
山口県	-	-	58	1.18	4	0.08	32	0.65	-	-	12	1.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	33	1.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	14	0.44	-	-	38	1.19	-	-	16	5.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	39	1.00	-	-	90	2.31	-	-	20	2.86	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	32	1.03	2	0.06	6	0.19	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	30	0.30	5	0.05	183	1.81	1	0.04	39	1.70	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	17	0.74	10	0.43	71	3.09	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.02	23	0.48	18	0.38	20	0.42	15	1.50	21	2.10	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	60	1.22	2	0.04	78	1.59	1	0.11	35	3.89	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	54	1.50	11	0.31	45	1.25	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	50	1.35	-	-	51	1.38	1	0.25	29	7.25	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	5	0.08	27	0.45	8	0.13	125	2.08	1	0.17	11	1.83	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	3	0.09	15	0.44	141	4.15	-	-	17	1.70	-	-	1	0.14	3	0.43

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年38週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	78	0.17	3	0.01	3	0.01
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	3	0.25	-	-	-	-
秋田県	3	0.43	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	4	0.57	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	2	0.29	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	3	0.23	-	-	-	-
東京都	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	2	0.18	-	-	-	-
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	9	1.13	1	0.13	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	3	0.43	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.42	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	2	0.40	-	-	-	-
島根県	10	1.25	-	-	-	-
岡山県	5	1.00	-	-	-	-
広島県	1	0.04	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	2	0.40	-	-	-	-
愛媛県	2	0.33	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.29	1	0.14	2	0.29

感染症週報 第3巻、第38号 平成13年10月5日発行  
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
TEL：03-5285-1111  
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html  
<国立感染症研究所 感染症情報センター>  
http://www.mhlw.go.jp/  
<厚生労働省>  
http://www.forth.go.jp/  
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。